

小島動物病院アニマルウェルネスセンター 公益社団法人日本動物病院協会認定病院

氏名：小嶋大亮

職位：院長

学位：獣医師 (D.V.M.), 北里大学, 2008 年.

博士 (獣医学) (PhD), 北里大学, 2012 年.

日本獣医病理学専門医(Diplomate JCVP), 2014 年.

JAHA 認定医(総合臨床医), 2017 年.

日本獣医皮膚科学会認定医(Certified JSVD), 2018 年

職歴

北里大学獣医畜産学研究科博士課程 (2008~2012 年)

米国ルイジアナ州立大学獣医学部 Pathobiological sciences, Post-doctoral fellow (2012~2013 年)

小島動物病院アニマルウェルネスセンター、勤務獣医師 (2013 年~2017 年)

麻布大学附属動物病院神経科、専科研修獣医師 (2015 年~2017 年)

小島動物病院アニマルウェルネスセンター、院長 (2017 年~現在)

麻布大学附属動物病院神経科、共同研究員 (2018 年~現在)

その他職歴および賞

国立感染症研究所研究生. 2008-2010 年.

日本学術振興会特別研究員 (DC2 及び PD). 2011 年~2013 年.

第 11 回日本獣医内科学アカデミー学術大会(JCVIM2015)症例検討アワード受賞. 2015 年.

一般社団法人日本獣医皮膚科学会 第 8 回世界獣医皮膚科会議フェローシップ. 2016 年

一般社団法人日本獣医皮膚科学会 オーガナイザー. 2019 年~現在

ながたの皮膚科塾レギュラーコース修了. 2021 年

所属学会

日本獣医学会

新潟県獣医師会

新潟小動物臨床研究会

日本獣医病理学専門家協会

日本獣医病理学会

日本獣医臨床病理学会

日本獣医皮膚科学会

獣医神経病学会

日本獣医内視鏡外科研究会

日本獣医麻醉外科学会

獣医アトピー・アレルギー免疫学会

日本獣医画像診断学会

日本レーザー獣医学研究会

学術業績

学術論文

小嶋大亮、今井はるか、小嶋恭子. 好酸球貪食能を有する肥満細胞腫の犬の1例. 獣医臨床皮膚科. 31:167-170. 2025.

小嶋大亮、今井はるか、小嶋恭子. 皮膚肥満細胞症を疑う雑種猫の1例. 獣医臨床皮膚科. 30:215-218. 2024.

小嶋大亮、小嶋恭子、小嶋佳彦 病理組織学的に検索した両側踵部の深在性化膿性肉芽腫性毛包炎の猫の1例. 獣医臨床皮膚科. 29:3-7. 2023.

小嶋恭子、小嶋佳彦、**小嶋大亮**. 硬性鏡を用いて腹部に発生した脂肪腫の外科的マージン評価の検討を行ったモモイロインコ (*Eolophus roseicapilla*) の一例. 鳥類臨床. 28:8-11. 2022.

小嶋大亮、小嶋恭子、太田和美、小嶋佳彦. 膀胱癌及び副腎皮質腺腫を併発した猫における化膿性肉芽腫性皮下織炎と萎縮性皮膚症の1症例報告. 日本獣医師会雑誌 74:733-737. 2021.

小嶋恭子、太田和美、小嶋佳彦、**小嶋大亮**. 腹水を用いて鉄貯蔵病の診断を検討した九官鳥の1例. 鳥類臨床. 26:29-31. 2021.

小嶋大亮、小嶋恭子、太田和美、小嶋佳彦 傍前立腺部に形成された漿膜封入囊胞及び動静脈瘻の犬の1例 日本獣医師会雑誌 73:511-515. 2020.

小嶋大亮、小嶋恭子、太田和美、小嶋佳彦 頭頸部に好酸球性皮膚炎と皮脂腺炎を認めた猫の1例 日本獣医師会雑誌 73:107-110. 2020.

小嶋大亮、小嶋恭子、太田和美、小嶋佳彦 ビタミンAが著効を示した脂漏症の老齢アメリカン・コッカー・スパニエルの1例 日本獣医師会雑誌 70:235-239. 2017.

小嶋恭子、太田和美、小嶋佳彦、**小嶋大亮** 腹水貯留を示したウサギの悪性ミューラー管混合腫瘍の1例 日本獣医師会雑誌 70:170-174. 2017.

小嶋大亮、小嶋恭子、太田和美、小嶋佳彦 猫の下顎皮膚に形成された棘融解性扁平上皮癌の1例 獣医臨床皮膚科 21:149-153. 2015.

Kimitsuki K, Boonsriroj H, **Kojima D**, and Park CH. A Case Report of Feline Pituitary Carcinoma with Hypercortisolism J Vet Med Sci. 76:133-138. 2014.

村田涼子、富岡美千子、渡辺大作、Hassadin Boonsriroj、小嶋大亮、畠井仁、朴天鎬 若齢ザーネン種山羊の遅延型地方病性運動失調症に関する病理学的研究 日本獣医師会雑誌 66:390-397. 2013.

Hatai H, Iba M, **Kojima D**, Park CH, Tsuchida Y, Oyamada T. Spindle Cell Ameloblastic Carcinoma in a Labrador Retriever Dog. J Vet Med Sci. 2013. 75:639-641.

Kojima D, Hatai H, Oyamada T, Park CH. Extraskeletal myxoid chondrosarcoma with systemic metastasis in a five-month-old Irish setter dog. J Vet Med Sci. 2012 74:1045-1049.

Park CH, **Kojima D**, Hatai H, Inoue S, Oyamada T. A case report of traumatic neuroma of the cervical spinal cord in a dog. J Vet Med Sci. 2012. 74: 787-790.

Yamada K, Park CH, Noguchi K, **Kojima D**, Kubo T, Komiya N, Matsumoto T, Mitui MT, Ahmed K, Morimoto K, Inoue S, Nishizono A. Serial passage of a street rabies virus in mouse neuroblastoma cells resulted in attenuation: potential role of the additional N-glycosylation of a viral glycoprotein in the reduced pathogenicity of street rabies virus. Virus Res. 2012 165:34-45

Sugiura N, Uda A, Inoue S, **Kojima D**, Hamamoto N, Kaku Y, Okutani A, Noguchi A, Park CH, Yamada A. Gene expression analysis of host innate immune responses in the central nervous system following lethal CVS-11 infection in mice. Jpn J Infect Dis. 2011. 64:463-72.

Kojima D, Park CH, Tsujikawa S, Kohara K, Hatai H, Oyamada T, Noguchi A and Inoue S. Lesions of the central nervous system induced by intracerebral inoculation of BALB/c mice with rabies virus (CVS-11). J Vet Med Sci. 2012. 72:1011-1016.

Park CH, Nakanishi A, Hatai H, **Kojima D**, Oyamada T, Sato H, Kudo N, Shindo J, Fujita O, Hotta A, Inoue S and Tanabayashi K. Pathological and microbiological studies of Japanese Hare (*Lepus brachyurus angustidens*) naturally infected with *Francisella tularensis* subsp. *holarctica*. *J Vet Med Sci*. 2009. 71:1629-1635.

土田靖彦、朴天鎬、安家義之、磯村洋、**小嶋大亮**、植木秀彰、池田学、小山田敏文
犬の術後縫合糸肉芽腫に関する病理学的研究 日本獣医師会雑誌 2009. 5:388-394.

Kojima D, Park CH, Satoh Y, Inoue S, Noguchi A, Yamada A and Oyamada T. Pathology of the spinal cord of C57BL/6J mice infected with rabies virus (CVS-11). *J Vet Med Sci*. 2009. 71:319-324.

Park CH, **Kojima D**, Tsuzuki N, Ishii Y and Oyamada T. Malignant glomus tumour in german shepherd dog. *Vet Dermatol*. 2008. 20:127-130.

Book Chapter, 執筆・寄稿・講演など

Inoue S, Boldbaater B, Sugiura N, **Kojima D**, Noguchi A and Park C. H. 2010. Rabies. pp. 143-153. In: Animal Viruses. (Maeda A ed.), Transworld Research Network, India.

小嶋大亮. 2019. 爪の疾患. その他の皮膚疾患. 私たちはこう治療する. *Small Animal Dermatology*. Inter zoo 社, 東京 59 : 71-78.

小嶋恭子、太田和美、小嶋佳彦、**小嶋大亮**. 2020年 腎芽腫の犬の1例. 小動物臨床腫瘍 Joncol, ファームプレス社, 東京 28 : 84-89.

レーザーを用いた動物の皮膚がんサポートセンター事業とチーム獣医療の構築. 2022年.
日本レーザー獣医学研究会 (名古屋、松山、広島、東京)

研究発表

小嶋大亮、今井はるか、小嶋恭子. 伴侶動物の病理診断におけるダーモスコピ一検査の有用性の検討. 2025年. 第12回日本獣医病理学専門家協会

小嶋大亮、今井はるか、小嶋恭子. 好酸球貪食能を有した肥満細胞腫の犬の1例. 2025年. 第28回日本獣医皮膚科学会学術大会

小嶋恭子、今井はるか、**小嶋大亮**. そ囊に扁平上皮癌が認められたオカメインコ

(*Nymphicus hollandicus*) の 1 例. 2025 年. 第 28 回鳥類臨床研究会大会

小嶋大亮、今井はるか、小嶋恭子. 口腔底唾液腺嚢胞の猫の 1 例. 2024 年. 令和 6 年度 日本小動物獣医学会（中部地区）

小嶋恭子、今井はるか、**小嶋大亮**. 卵巣子宮摘出後に脂質産生豊富な乳腺癌が発生したウサギ *Oryctolagus cuniculus* の 1 例. 2024 年. 令和 6 年度 日本小動物獣医学会（中部地区）

今井はるか、小嶋恭子、**小嶋大亮**. 多発性紅斑を示した低分化型皮膚血管肉腫の犬の 1 例. 2024 年. 令和 6 年度 日本小動物獣医学会（中部地区）

小嶋大亮、今井はるか、小嶋恭子. 前肢の深在性細菌性毛包炎診断後にオクラシチニブで維持療法を行った犬の 1 例. 2024 年. 第 16 回獣医アトピー・アレルギー・免疫学会

小嶋大亮、今井はるか、小嶋恭子、小嶋佳彦. 遠隔転移を認めた悪性グロムス腫瘍の犬の 1 例. 2024 年. 第 11 回日本獣医病理学専門家協会学術集会

小嶋大亮、今井はるか、小嶋恭子、小嶋佳彦. 皮膚肥満細胞症に類似する所見を呈した猫の 1 例. 2024 年. 第 27 回日本獣医皮膚科学会学術大会

小嶋大亮、小嶋恭子、小嶋佳彦. 両側踵部に発生した出血性潰瘍性皮膚炎の猫の 1 例. 2022 年. 第 25 回日本獣医皮膚科学会学術大会

小嶋恭子、小嶋佳彦、**小嶋大亮**. モモイロインコ (*Eolophus roseicapilla*) の腹部に発生した脂肪腫における新規診断法の検討. 2022 年. 鳥類臨床研究会 第 25 回大会

小嶋大亮、小嶋恭子、太田和美、小嶋佳彦. 脾疾患及び副腎皮質腺腫の関与を疑う無菌性脂肪織炎と皮膚萎縮を認めた猫の 1 例. 2021 年. 第 8 回日本獣医病理学専門家協会学術集会

小嶋大亮、小嶋恭子、太田和美、小嶋佳彦. 肥満細胞浸潤を伴う無菌性化膿性肉芽腫性皮膚炎の猫の 1 例. 2021 年. 第 24 回日本獣医皮膚科学会学術大会

小嶋恭子、太田和美、小嶋佳彦、**小嶋大亮**. 腹水を用いて鉄貯蔵病の診断を検討した九官鳥の 1 例. 2021 年. 鳥類臨床研究会 第 24 回大会

小嶋大亮、小嶋恭子、太田和美、小嶋佳彦. 皮膚に形成された小型上皮性腫瘍の猫の 4 例.

2020年. 第23回日本獣医皮膚科学会学術大会

小嶋大亮、小嶋恭子、太田和美、小嶋佳彦. 膀胱アミロイドーシスの犬の1例. 2020年. 第7回日本獣医病理学専門家協会学術集会

小嶋恭子、太田和美、小嶋佳彦、**小嶋大亮**. 腎芽腫の犬の1例. 2019年. 第21回日本獣医がん学会

小嶋大亮、小嶋恭子、太田和美、小嶋佳彦. 多発性漿膜封入囊胞及び静脈性血管腫により構成された傍前立腺囊胞の犬の1例. 2019年. 第6回日本獣医病理学専門家協会学術集会

小嶋大亮、小嶋恭子、太田和美、小嶋佳彦. 好酸球性肉芽腫症候群と脂腺炎が同時発生した猫の1例. 2019年. 第22回日本獣医皮膚科学会学術大会・総会

小嶋大亮、小嶋恭子、太田和美、小嶋佳彦. Thyroid transcription factor 1抗体を用いた病理検査が臨床的に有用であった猫の肺腺癌の1例. 2018年. 日本小動物獣医学会（中部地区）

十川剛、齋藤弥代子、島倉秀勝、**小嶋大亮**、阪口雅弘. 犬のてんかんの遺伝子探索. 2016年. 第91回麻布獣医学会

平嶋洵也、齋藤弥代子、青木卓磨、十川剛、**小嶋大亮**. 血栓症を生じる基礎疾患を持ち、神経徴候を示した犬の1例. 2016年. 第91回麻布獣医学会.

小嶋大亮、小嶋恭子、太田和美、小嶋佳彦. Vitamin A反応性皮膚症に罹患したアメリカン・コッカー・スパニエルの1例における診療成績と皮膚病変の解析. 2016年. 第19回日本獣医皮膚科学会学術大会.

小嶋大亮、小嶋恭子、太田和美、小嶋佳彦. 形質細胞腫による結腸重積の犬の1例. 2016年. 第12回日本獣医内科学アカデミー学術大会.

小嶋大亮、小嶋恭子、太田和美、齋藤弥代子、小嶋佳彦. 手根関節に発生した大型孤在性滑膜性骨軟骨腫症の1例. 2015年. 第36回動物臨床医学会記念年次大会.

小嶋大亮、朴天鎬、小嶋恭子、太田和美、小嶋佳彦. チワワ犬の舌に形成された黄色腫の1例. 2015年. 第158回日本獣医学会学術集会.

小嶋恭子、**小嶋大亮**、太田和美、小嶋佳彦. ウサギの腹水2例を用いたセルパック法の検討. 2015年. 日本小動物獣医学会（中部地区）

小嶋大亮、小嶋恭子、太田和美、小嶋佳彦. 腹壁外ヘルニア内に髄外造血巣を認めた犬の1例. 2015年. 日本小動物獣医学会（中部地区）

小嶋恭子、**小嶋大亮**、太田和美、小嶋佳彦. 猫の鼻咽頭型リンパ腫の1例. 2015年. 日本小動物獣医学会（中部地区）

太田和美、**小嶋大亮**、小嶋恭子、小嶋佳彦. 犬の盲腸原発消化管間質腫瘍の1例. 2015年. 日本小動物獣医学会（中部地区）

小嶋佳彦、**小嶋大亮**、小嶋恭子、太田和美. 猫の悪性末梢神経鞘腫瘍の1例. 2015年. 日本小動物獣医学会（中部地区）

小嶋大亮、小嶋恭子、太田和美、小嶋佳彦. 猫の胃腺癌の1例. 2015年. 日本獣医臨床病理学会2015年学術大会

小嶋恭子、**小嶋大亮**、太田和美、小嶋佳彦. ウサギの子宮に形成された悪性ミューラー管混合腫瘍の1例. 2015年. エキゾチックペット研究会症例発表会 2015.

小嶋大亮、小嶋恭子、太田和美、小嶋佳彦. ミニチュア・シュナウザーの頭部に形成された多発性類皮囊腫の1例. 2015年. 第18回日本獣医皮膚科学会学術大会.

小嶋大亮、小嶋恭子、太田和美、小嶋佳彦. 猫の下顎皮膚に形成された棘融解性扁平上皮癌の1例. 2015年. 第11回日本獣医内科学アカデミー学術大会.

小嶋大亮、小嶋恭子、太田和美、小嶋佳彦. 猫の腸腺癌の2例. 2014年. 第35回動物臨床医学記念年次大会.

小嶋大亮、小嶋恭子、太田和美、小嶋佳彦. 胸水セルブロックにより診断された猫のリンパ腫の1例. 2014年. 第16回日本獣医臨床獣医学フォーラム年次大会2014

小嶋大亮、小嶋恭子、太田和美、小嶋佳彦. 胸水セルブロックにより診断された猫の肺腺癌の1例. 2014年. 日本獣医臨床病理学会2014年学術大会

Kojima D and Wakamatsu N. Glossal squamous cell carcinoma in situ with canine oral papillomavirus infection in a dog. 2013. ACVP & ASVCP annual meeting, Montreal.

Sakaguchi K, **Kojima D**, Shell KN, Delpiero F, McConnico R and Wakamatsu N. Atypical myeloencephalopathy with ceroid lipofuscinosis in a Tennessee walker horse. 2013. ACVP & ASVCP annual meeting, Montreal.

小嶋大亮、Natalie Fowlkes. Malignant pericardial mesothelioma in a Cheetah (*Acinonyx jubatus*). 2013年. 第155回日本獣医学会学術集会

Kojima D, Kurotaki T, Mamone C and Wakamatsu N. Invasive thymic carcinoma in a bearded collie dog. 2012. ACVP annual meeting, Seattle.

朴 天鎧、山田 健太郎、小宮 尚之、久保 達也、**小嶋 大亮**、井上 智、西園 晃. 病原性の異なる狂犬病ウイルス（強毒株1088-N0と弱毒株1088-N30）を筋肉内接種したddYマウスの中枢神経系に関する比較病理学的研究. 2012年. 第154回日本獣医学会学術集会

杉下 摩由璃、山田 健太郎、小宮 尚之、久保 達也、**小嶋 大亮**、Boonsriroj Hassadin、井上 智、西園 晃、朴 天鎧. 病原性の異なる狂犬病ウイルス（強毒株1088-N0と弱毒株1088-N30）を筋肉内接種したddYマウスの末梢神経系（脳を除く頭部）に関する比較病理学的研究. 2012年. 第154回日本獣医学会学術集会

Hatai H, Iba M, **Kojima D**, Park CH, Tsuchida Y and Oyamada T. Ameloblastic carcinoma characterized by spindle cells in a Labrador retriever. 2011. WSAVA –FASAVA World Congress ICC, Jeju, Korea.

Kojima D, Mochida M, Maruo I, Hatai H, Oyamada T and Park CH. A case report of traumatic neuroma of the cervical spinal cord in a dog. 2011. WSAVA –FASAVA World Congress ICC, Jeju, Korea.

Park CH, **Kojma D**, Hatai H and Oyamada T. Extraskeletal myxoid chondrosarcoma with systemic metastasis in a five month old irish dog. 2011. WSAVA –FASAVA World Congress ICC, Jeju, Korea.

朴天鎧、河合泰広、塩ノ谷佳苗、**小嶋大亮**、佐々木瑞希、畠井仁、小山田敏文、篠井宏美. *Encephalitozoon cuniculi* (I型)を経鼻接種した BALB/c およびヌードマウスの病理変化.

2011年. 第152回日本獣医学術集会.

元風呂晃、朴天鎬、大塚浩通、**小嶋大亮**、畠井仁、藤掛斎、平泉美栄子、松本敦、小山田敏文. 起立不能を呈した子牛のB細胞性リンパ腫の一例. 2010年 第150回日本獣医学術集会.

射場満、朴天鎬、渡辺大作、柿崎竹彦、**小嶋大亮**、畠井仁、小山田敏文. 脊髄空洞を伴う脊髄重複症の子牛の1例. 2010年 第150回日本獣医学術集会.

遠藤加樓羅、朴天鎬、菊池元宏、金井一享、**小嶋大亮**、畠井仁、小山田敏文. 外傷性の視神経傷害による盲目が疑われた黒毛和種の子牛2例. 2010年 第150回日本獣医学術集会.

河合泰大、朴天鎬、高野友美、宝達勉、**小嶋大亮**、畠井仁、小山田敏文. 胃腸全域に多発性結節性病変を形成した猫伝染性腹膜炎ウイルス感染症の1例. 2010年 第150回日本獣医学術集会.

石田誠、朴天鎬、**小嶋大亮**、畠井仁、小山田敏文. イヌの直腸ポリープおよび直腸癌にみられる異所性骨組織に関する病理学的研究. 2010年 第150回日本獣医学術集会.

小嶋大亮、朴天鎬、石田誠、小原慶子、井上謙一、畠井仁、小山田敏文、野口章、井上智. 狂犬病ウイルス固定株(CVS-11)を脳内接種したMacaque属サルの脳に関する病理学的研究. 2010年 第150回日本獣医学術集会.

丸尾育兵、朴天鎬、持田望美、佐野忠士、**小嶋大亮**、畠井仁、小山田敏文. 犬の第6頸髄および第7頸髄神経に形成された外傷性神経腫の1例. 2010年 第150回日本獣医学術集会.

杉浦尚子、宇田晶彦、**小嶋大亮**、野口章、奥谷晶子、加来義浩、朴天鎬、山田章雄、井上智. 狂犬病ウイルス(CVS-11)の末梢感染により麻痺症状を示したC57BL/6Jマウスの中枢神経組織における宿主遺伝子のマイクロアレイ解析. 2010年 第150回日本獣医学術集会.

加納有紗、朴天鎬、**小嶋大亮**、大森有希子、小原慶子、塩ノ谷佳苗、濱田誠太郎、松山佳奈子、高野友美、畠井仁、宝達勉、小山田敏文. 猫伝染性腹膜炎ウイルスに感染後水頭症を起こした猫2症例に関する病理学的研究. 2009年. 第148回日本獣医学術集会.

小嶋大亮、朴天鎬、小原慶子、杉浦尚子、Boldbaatar Bazartseren、佐藤豪、野口章、畠井仁、小山田敏文、井上智. 狂犬病ウイルス(CVS-11)を後肢筋肉内に接種したC57BL/6J

およびヌードマウスの脊髄に関する比較病理学的研究. 2009年. 第148回日本獣医学術集会.

塩ノ谷佳苗、朴天鎬、筏井宏実、**小嶋大亮**、大森有希子、加納有紗、小原慶子、濱田誠太郎、松山佳奈子、畠井仁、小山田敏文. 腸ループ接種および経口投与したEncephalitozoon cuniculi (*E.cuniculi*) の感染様式と病理組織像. 2009年. 第148回日本獣医学術集会.

松山佳奈子、朴天鎬、土田靖彦、**小嶋大亮**、安家義幸、大森有希子、加納有紗、小原慶子、塩ノ谷佳苗、濱田誠太郎、畠井仁、小山田敏文. 避妊・去勢ラットを用いた術後縫合糸肉芽腫に関する実験病理学的研究. 2009年. 第148回日本獣医学術集会.

濱田誠太郎、朴天鎬、**小嶋大亮**、大森有希子、加納有紗、小原慶子、塩ノ谷佳苗、松山佳奈子、畠井仁、小山田敏文. 野生げつ歯類における病理組織学的所見. 2009年. 第148回日本獣医学術集会.

大森有希子、朴天鎬、**小嶋大亮**、加藤稚菜、加納有紗、小原慶子、塩ノ谷佳苗、濱田誠太郎、松山佳奈子、畠井仁、小山田敏文. 犬の唾液腺粘液瘤 (salivary mucocele) 6症例に関する形態病理学的研究. 2009年. 第148回日本獣医学術集会.

杉浦尚子、Demetria Catalino、Boldbaatar Bazartseren、Manalo Daria、**小嶋大亮**、朴天鎬、野口章、加来義浩、奥谷晶子、佐藤豪、山田章雄、Quiambao Beatriz、井上智. 迅速免疫組織化学とプラスミド免疫抗体を利用した狂犬病ウイルス簡易検査系の確立. 2009年. 第148回日本獣医学術集会.

Inoue S, **Kojima D**, Boldbaatar B, Sugiura N, Noguchi A, and Park CH. Histopathogenesis of paralytic rabies in mice following inoculation of the CVS-11 strain into the triceps surae muscle. 2009. The 43rd joint working conference on viral diseases of US-Japan cooperative medical science program. Philadelphia.

小嶋大亮、朴天鎬、辻川真太郎、小原慶子、井上智、野口章、小山田敏文. 狂犬病ウイルス (CVS-11) を脳内接種した BALB/c マウスの脳脊髄に関する病理学的研究. 2009年. 第147回日本獣医学術集会.

小嶋大亮、濱田誠太郎、朴天鎬、渡辺大作、安藤貴朗、小山田敏文. ホルスタイン牛に発生した解離性大動脈瘤の1例. 2009年. 平成20年度日本獣医師会学会年次大会.

朴天鎬、小原慶子、**小嶋大亮**、菊池元宏、小山田敏文. 黒毛和種に発生した悪性卵黄囊腫

癪の 1 例. 2009 年. 平成 20 年度日本獣医師会学会年次大会.

小嶋大亮、朴 天鎧、井上智、野口章、山田章雄、小山田敏文. 狂犬病ウイルス (CVS-11) に感染した C57BL/6J マウスの脊髄に関する病理学的研究. 2008 年. 第 146 回日本獣医学術集会.